



学校キャラクター「たちばにゃん」



# 「輝け！橘っ子」通信

橘小学校ホームページの  
QRコードです。

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」  
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

桜坂の木々もすっかり葉を落とし、寒さに体を丸めながら登校する子どもたちの姿が目立ってきました。毎朝桜坂には大量の落ち葉が降り積もりませんが、今年は、4年生の子どもたちがボランティアで、頻繁に桜坂の掃き掃除をしてくれています。ほうきで落ち葉をかき集め、大きなゴミ袋いっぱいになった落ち葉を運ぶ4年生。自分たちから進んで人の役に立つことをしようとする姿勢が育ってきていることに感慨深いものがあります。このように主体的に行動できる橘っ子がどんどん増えていくよう、私たちも声かけをしっかりとし、感謝の気持ちを伝えていきたいと思います。



一生懸命に桜坂の落ち葉を掃き掃除してくれる4年生。

## 事前復興出前授業

11月27日(木)・28日(金)、愛媛大学の多〇生や自主防災会の山〇先生のご指導のもと、5・6年生が地域の事前復興について考える活動に取り組みしました。

まず工事が進む四国横断自動車道のお話を伺い、等高線入りの大きな地図とジオラマ模型を見ながら橘町の標高や小学校・防災公園の高さを確認したり、ネット上の国土地理院のページで橘町の主な施設が位置する高さや津波浸水域などを調べたりしました。次に、津波被害から守りたい橘町の宝物(場所や施設など)について話し合い、自分の家、大好きなだんじりや海正八幡神社、お店屋さんや火力発電所などを守るために、道路や堤防のかさ上げ、施設の高台移転、避難用のトンネル掘削、ヘリポートのある新たな防災公園の建設、高規格道路の町への接続等々、様々なアイデアを出し合いました。このプランについては、2月9日に牟岐町で開催される防災・事前復興学習発表会で6年生が発表する予定です。



牟岐小学校の友達の事前復興プランを動画で見る。



町の標高や津波浸水域をタブレットで確かめる。



橘町の宝物の位置をジオラマ模型で確かめる。



自分が考える橘町の宝物について発表し合う。

## 下校時避難訓練

11月28日(金)、下校時避難訓練を実施しました。この訓練は、下校時に大きな地震が発生したとき、児童地震が判断して、最も近い避難場所に避難できるようになることを目的として、毎年実施しています。今年度は、自主防災会の山〇さんとスクールガードの形〇さんが指導してくださり、児童は教職員と一緒に下校方面ごとに分かれて一斉下校しました。

子どもたちは、倒れてきそうな電柱やフェンス、神社の鳥居の柱、ブロック塀、信号機などを確認し、どこに逃げるか、どんなことに注意して逃げるか話し合い、まずは自分の命を守ること、次に津波襲来を想定して高いところを目指して逃げることを再確認しました。

地震発生時、子どもたちは大人と一緒にいるとは限りません。子どもたちだけでも、自分で判断して命を守る行動がとれるよう、これからも訓練や防災学習を重ねていきたいと思っています。



自主防災会の方から下校時避難訓練の目的についてお話を聞く。



歩道橋の前で予想される津波浸水域や高さについて確認。



神社の鳥居が倒れてきたらどこに逃げるか考える。



高台の避難場所へ山道を登る。

## 校内体操検定会

11月20日(木)、校内体操検定会を実施しました。全町運動会後、4・5・6年生の子どもたちは、月水金の放課後、マット運動や跳び箱運動、鉄棒運動の練習に取り組んできました。体育の授業では徳島市体操協会の講師先生を迎えて、特別授業に取り組みしました。校内体操検定会では、それら練習の成果を1・2・3年生の子どもたちにしっかりと披露することができました。練習の時に指先や足先まで意識した美しい演技ができており、短期間ではありましたが、器械運動に真剣に取り組んできた努力の跡が十分に感じられました。



マット運動。膝をしっかりとくっつけて前転。



跳び箱運動。1,2のジャンプで踏み切って。